

「コミわか」この一年を振り返って

教育文化部

スポーツや音楽などのイベント、教育を通じて、
区民や子ども達の心のゆたかさを追求します

教育文化部長 深澤 順子

教育文化部は、公民館・人権教育・青少年の各部会が協力して様々な事業を実施しております。27年度の事業活動は新しい行事の連続でした。公民館部会は、新体制発足後早々に開催された善光寺御開帳2015門前町大縁日に『善光寺を訪れる皆様を「おもてなし」と「にぎわい」で迎える』のテーマのもとに参加しました。踊り、太鼓、空手、バトン、フラダンス、朝市の皆様のご協力でにぎやかなおもてなしを実施しました。風の強い肌寒い一日でしたが、御開帳に訪れたお客さんは暖かな一時を過ごされたことと思います。

人権教育部会は11月にホワイトリングで開催された『第67回全国人権・同和教育研究大会』に参加しました。「差別の現実から深く学び、生活を高め、未来を保障する教育を確立しよう！」をテーマとして、約8,000人の参加者と人権について学習することにより、この問題が日常生活に深く根を張っていることに気づかされました。

青少年部会は、冬季レクリエーションとして、『オモシロ迷路で遊ぼう』を開催しました。迷路は北部中学校技術部の生徒20人程とダンボールで制作しましたが、生徒たちは色々なアイデアを出して一生懸命取り組んでくれました。参加した子供たちは迷路を進みながらゲームをしたり、物作りをしたり助け合ったりして迷路から抜け出していました。

教育文化部は、本年度も皆様のご協力とご参加をいただいて事業を進めることができました。次年度も引き続きよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



三登山太鼓が始まると大勢の外国人観光客がカメラを構えました(門前町大縁日)



全国人権・同和教育研究大会



オモシロ迷路の試作

(社)コミわかグリーン倶楽部

新しい農園が増えました

(社)コミわかグリーン倶楽部 専務理事 田中 喜顕

当社は若槻地区内の遊休農地の解消を目的として設立され、6年が経過しました。本年度は会員の皆様のご尽力により順調な事業展開ができました。主な事業の概要は次のとおりです。

●コミわか農園の新規開設

J Aながのサービス㈱より、同社管理の市民農園(上野、田中地区 3農園 14区画)の移管を行いました。これにより当社の管理する農園は、9農園 89区画となりました。

●サラダパーク蚊里田指定管理

本年度末で長野市の指定管理期限が到来しました。更改手続きを行い引き続き5年間の指定管理者の指定を受けました。維持管理は順調に推移しました。

●保育園児のサツマイモ栽培体験事業

J Aの協力を得て、皐月保育園の園児を招いて植え付け、収穫を体験してもらいました。サツマイモは豊作で園児は大喜びでした。



皐月保育園の園児とサツマイモ苗の植え付け



草刈り